海街吹風

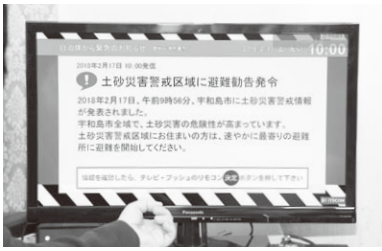
片山 寛子

愛媛県

南国宇和島も、今年は雪が多い。
高速道路の松山を過ぎると
山裾には、のこり雪があった。

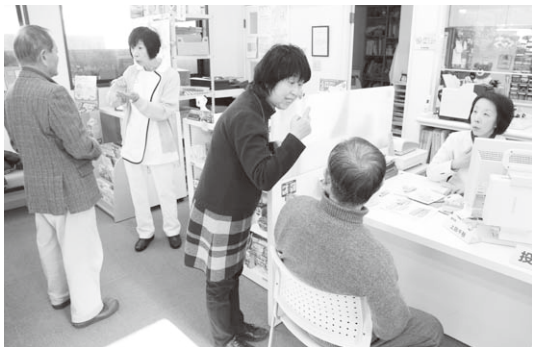
片山寛子さんは18年前から
宇和島市役所設置手話通訳者
として常勤。

宇和島は闘牛で有名な地
片山さんは丑年生まれ。
優しくよく動く牛だが、
仕事へは闘牛ほど力強い。
厳しいほどの心細やかさは、
ろう者の「ありがとう」を生む。



災害情報をいちはやく

防災ラジオでは伝わりにくい情報を
より早く正確な内容が
ろう者に伝わる方法を模索。
市危機管理課と協力の結果、
全国にさきがけて
システム「テレビ・プッシュ」を実証実験中。



医療の現場に手話を

医療現場で手話が活用できるよう
通研仲間の看護師佐竹祝子さんを中心に
薬剤師さんの勉強会を定期的に開催。
成果は手話での「お薬相談会」に
つながっている。

集まる

商店街にある「アトリエ　やつしかふぇ」では
障がい者が働き、カフェ事業の他に
陶芸作品やシーボーンアート※の展示販売を
している。
片山さんの活動に欠かせない集いの場所。

※海岸漂着物を使ってアートにしたもの

みんなに手話を広める

耳の日のつどい（第25回）

宇和島聴覚障害者協会と手話サークルはまゆうの会が共催。
手話を知らない人たちにも興味を持ってもらえるようにと
ショッピングモールの広場を借りて開催。
ポップを駆使して奮闘中。

片山さんは今、「ルーツをたどる旅」に興味がある。
自分の生い立ちをなぞってゆくプロセスに
明日につながる道を見る。

今、海街に吹く風は優しく、たくましい！

相棒　作業所で買った再生自転車は長年使った年季もの、
通勤はいつも一緒。

写真/文　松本 博